

高等学校 令和 8 年度 (1 学年用)

教科 : 国語 科目 : 基礎古典
 単位数 : 2 単位
 対象学年組 : 第 1 学年

使用教科書 : 古典文法クリアノート (尚文出版)

教科の目標 : 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたる国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目の目標 :

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを適切に深めたりするることができるようにする	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わることができるようにする

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時間
1 単元名 言語文化の復習・基本的な古典常識と文法入門						
<p>【知識及び技能】 古典に用いられる語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語幹を磨き語彙を豊かにできる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 古典を学ぶことを通して、当時の人々の考えを理解し、現代の生活との共通点や差異を知ることができる。</p>	<p>【使用教材】 個人端末、プリント、『古典文法クリアノート』</p> <p>【指導項目・内容】 ・古文の特徴アラカルト ・五十音図というは歌 ・歴史的かなづかいと発音 ・ことばの単位と品詞 ・品詞分類・自立語・付属品</p>	<p>【知識及び技能】 古典に用いられる語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語幹を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えようとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 古典を学ぶことを通して、当時の人々の考えを理解し、現代の生活との共通点や差異を知ろうとしている。</p>				6
2 単元名 説話						
<p>【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 説話の面白さに触れ、当時のものの見方・考え方・美意識を理解し、積極的に自分の考えを伝え合おうとすることができる。</p>	<p>【使用教材】 個人端末、プリント、『古典文法クリアノート』</p> <p>【指導項目・内容】 ・古今著聞集 ・宇治拾遺物語</p>	<p>【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解しようとしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつようとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 説話の面白さに触れ、当時のものの見方・考え方・美意識を理解し、積極的に自分の考えを伝え合おうとしている。</p>				12
3 単元名 動詞の活用						
<p>【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語文法について、理解を深めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 これまでの学習を踏まえて、時代による語彙や表現の違いについて考えを深めることができる。</p>	<p>【使用教材】 個人端末、プリント、『古典文法クリアノート』</p> <p>【指導項目・内容】 ・活用と活用形のはたらき ・動詞の活用の種類 ・活用の種類の識別</p>	<p>【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語文法について、理解を深めるようとしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 これまでの学習を踏まえて、時代による語彙や表現の違いについて考えを深めようとしている。</p>				8
2 単元名 物語／随筆						
<p>【知識及び技能】 古典に用いられることができる語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章などに表れることができるものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 今までの学習を生かして長編物語をよみ、人物造形・心理描写・和歌の役割などに注意しながら、積極的に内容を捉えようとするすることができる。</p>	<p>【使用教材】 個人端末、プリント、『古典文法クリアノート』</p> <p>【指導項目・内容】 ・竹取物語／伊勢物語 ・枕草子／方丈記</p>	<p>【知識及び技能】 古典に用いられることができる語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章などに表れることができるものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めようとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 今までの学習を生かして長編物語をよみ、人物造形・心理描写・和歌の役割などに注意しながら、積極的に内容を捉えようとしている。</p>				10

高等学校 令和 8 年度 (1 学年用)

教 科 : 国語 科 目 : 基礎古典

単 位 数 : 2 単位

対象学年組 : 第 1 学年

使用教科書 : 古典文法クリアノート (尚文出版)

教科の目標 : 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目の目標 :

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを適切に深めたりするることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わることができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 間
2 学 期	2 単元名 形容詞／形容動詞						
	【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語文法について、理解を深めることができる。	【使用教材】 個人端末、プリント、『古典文法クリアノート』	【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語文法について、理解を深めるようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができる。	【指導項目・内容】 ・活用と活用形の働き ・形容詞／形容動詞の活用の種類	【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとしている。	○	○	○	10
	【学びに向かう力、人間性等】 これまでの学習を踏まえて、時代による語彙や表現の違いについて考えを深めることができる。		【学びに向かう力、人間性等】 これまでの学習を踏まえて、時代による語彙や表現の違いについて考えを深めようとしている。				
2 学 期	3 単元名 詩歌						
	【知識及び技能】 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解できる。	【使用教材】 個人端末、プリント、『古典文法クリアノート』	【知識及び技能】 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解しようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品や文章に表れることができるものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できる。	【指導項目・内容】 ・万葉集 ・古今和歌集 ・新古今和歌集	【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品や文章に表れることができるものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈しようとしている。	○	○	○	10
	【学びに向かう力、人間性等】 進んで、和歌や歌謡における表現の特色を理解し、学習課題に沿って、詩歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取ることができる。		【学びに向かう力、人間性等】 進んで、和歌や歌謡における表現の特色を理解し、学習課題に沿って、詩歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしている。				
3 学 期	1 単元名 漢文概説						
	【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語文法について、理解を深めることができる。	【使用教材】 個人端末、プリント、『古典文法クリアノート』	【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語文法について、理解を深めるようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができる。	【指導項目・内容】 ・漢文学習の意義 ・訓点の理解と訓読の仕方	【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとしている。	○	○	○	4
	【学びに向かう力、人間性等】 これまでの学習を踏まえて、時代による語彙や表現の違いについて考えを深めることができる。		【学びに向かう力、人間性等】 これまでの学習を踏まえて、時代による語彙や表現の違いについて考えを深めようとしている。				
3 学 期	2 単元名 漢詩／故事成語						
	【知識及び技能】 漢文に用いられることができる語句の意味や用法を理解し、漢文を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	【使用教材】 個人端末、プリント、『古典文法クリアノート』	【知識及び技能】 漢文に用いられることができる語句の意味や用法を理解し、漢文を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 漢文の詩歌や故事成語などに表れるものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	【指導項目・内容】 ・唐詩 ・故事成語	【思考力、判断力、表現力等】 漢文の詩歌や故事成語などに表れるものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めようとしている。	○	○	○	10
	【学びに向かう力、人間性等】 今までの学習を生かして漢文をよみ、教訓の内容に注意しながら、積極的に内容を捉えようとすることができる。		【学びに向かう力、人間性等】 今までの学習を生かして漢文をよみ、教訓の内容に注意しながら、積極的に内容を捉えようとしている。				